

県議会やまがた

6月定例会号

第34号 / 令和3年(2021年)8月発行(年4回発行)



目次

- ◆◆◆ 1ページ
- ◆◆◆ 6月定例会の概要
- ◆◆◆ 6月定例会の代表質問
- ◆◆◆ オリパラに出席する本県選手を激励する決議を可決
- ◆◆◆ 2ページ
- ◆◆◆ 6月定例会の一般質問
- ◆◆◆ 予算特別委員会の質疑内容
- ◆◆◆ 日泊道・東北中央道の建設促進に向けた要望活動を実施
- ◆◆◆ 3ページ
- ◆◆◆ 予算特別委員会の質疑内容
- ◆◆◆ 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会を開催
- ◆◆◆ 可決した意見書・決議
- ◆◆◆ 降霜等による農作物等被害に係る緊急調査を実施
- ◆◆◆ 4ページ
- ◆◆◆ 活動団体等との意見交換を実施
- ◆◆◆ 生徒・学生と県議会議員との意見交換会を開催
- ◆◆◆ 看護職の皆さんへ応援メッセージを手交
- ◆◆◆ 県議会ギャラリーで「YAMAGATAドリームキッズ」の活動を紹介

「県議会やまがた」第34号は、6月定例会の内容を中心に、主に令和3年5月から7月にかけての議会活動についてお伝えします。

6月定例会の概要

6月15日から7月2日までの18日間の会期で開催され、本会議で自由民主党、県政クラブによる代表質問、3名の議員による一般質問が行われ、さらに予算特別委員会での8名の委員による質疑や常任委員会での審査を経たうえで、新型コロナウイルス感染症への対応を含む令和3年度一般会計補正予算など、追加提案を含む知事提出の19議案を可決・同意しました。

請願は4件上程され、全て継続審査となりました。意見書は2件発議され、原案どおり可決、国会・関係する省庁等に提出されたほか、決議1件を可決しました。また、最終日には、佐藤聡議員から議員の辞職願が提出され、同日の本会議において許可されました。主な質疑内容は次のとおりです。

代表質問から



自由民主党
加賀 正和 議員
(尾花沢市・北村山郡選挙区)

早期ワクチン接種に対する県としての取組み

問 県は、新型コロナウイルスワクチン接種の完了時期を早めるため、どう取り組んでいくのか。

答 県内のワクチン接種の加速が県民の命と健康を守り、県内経済の回復につながる。ことから、オール山形で接種を進めていく。このため、18歳以上64歳以下の県内在住者を対象とした県主体の大規模接種を令和3年8月から実施し、市町村の接種事業を補完していく。また、様々な職域での接種が実現するよう、各担当部局がそれぞれの分野で主体的に関わり、事業者の職域接種を推進していく。

副知事の人事案件

問 副知事の人事案件を令和3年6月定例会に提案する意見

思はあるか。また、前副知事の任意聴取の報道について、どう承知しているか。

答 副知事の人事については、いろいろな方々に相談したり話を聞いたりしながら検討していきたいと考えている。前副知事は市町村の現状や当面の課題などを首長から広くかつ丁寧に直接聞き、県の施策の参考とするため意見交換したものと認識している。うわさとして漏れ聞こえた内容を前副知事に確認したが、指摘を受けるようなことは全く言っていないと聞いたところだ。

被害状況に応じた救済策と今後の凍霜被害防止策

問 令和3年4月、5月に発生した凍霜・降ひょう被害について、その状況によっては追加の支援を検討すべきと考えるがどうか。

答 被害に遭った農業者の営農意欲が損なわれないよう、速やかな支援策が必要と考え、令和3年6月2日、果樹等の次期作に向けた継続的な施肥・防除等を支援する「凍霜害・雹害緊急対策パッケージ」を発動した。今後は、判明してくる被害の全容を注視し、生産者の意見を聞きながら、追加対策を含め幅広く検討を行い、営農意欲の維持向上に向け万全を期していく。



県政クラブ
松田 敏男 議員
(寒河江市・西村山郡選挙区)

コロナ禍における結婚・出産の応援

問 令和2年度の「やまがたの状況

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に出場する本県選手を激励する決議を可決

7月2日、6月定例会本会議において、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に出場する本県選手を激励する決議を可決しました。

決議

戦災から復興を遂げ「戦後のニッポン」を世界にアピールした東京五輪から半世紀が過ぎ、今まさに東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開幕されようとしています。平成23年3月、日本は東日本大震災に見舞われ、東北は甚大な被害等により深い失意に包まれました。

今大会は、震災から復興しつつある被災地の姿を全世界に示す大会です。今年3月、被災地の福島からスタートした聖火リレーは全国を駆け巡っています。本県でも6月6日と7日の2日にわたり、県内各地で185名のランナーが希望の光をつなぎました。全国の多くの人の思いをのせた絆の灯は、間もなく、聖火台に点火されようとしています。現在、本県から9名の若者が代表に内定しています。

ボクシングの岡澤セオン選手、アーチェリーの中村美樹選手、水球の三浦里佳子選手と鈴木透生選手、バレーボールの高梨健太選手、パラリンピック水泳の東海林大選手と齋藤元希選手、パラリンピックテコンドーの太田渉子選手、そして、シッティングバレーボールの竹井幸智恵選手です。

大会が1年延期される難しい環境にありながら、不屈の精神で研鑽を重ね、代表の座を勝ち取った選手たちの努力に敬意を表し、これまで積み重ねてきた鍛錬の成果がいかに発揮され、最高のパフォーマンスとなるよう、心から願っています。

本県は、スポーツを通じた健康で豊かな県民生活と活力ある地域社会の実現を目指し、「山形県スポーツ推進条例」を制定しています。

9名の本県選手が世界最高峰の舞台上で躍動する姿は、未来を担う子どもたちに夢と希望を与えるとともに、コロナ禍にあって閉塞感を感じている県民に、明るい話題と感動をもたらすに違いありません。

よって、本県議会は、山形から世界に羽ばたき活躍する9名の選手を県民とともに力強く応援していきます。

“がんばれ！ニッポン！がんばれ！ヤマガタ！”



[決議案を説明する島津良平議会運営委員長]

結婚応援事業」の成果について。また、各給付金制度のほごまとなる令和3年4月から12月までの新生児に対し何らかの支援が必要と考えるがどうか。

答 同事業により、令和2年11月から令和3年3月までの婚姻数を令和元年度比97%までに持ち直すことができたが、業界団体等と連携したキャンペーンや結婚する二人に県産品等を贈る事業を新たに実施する。また、令和4年1月開始予定の給付金については、議員と同様の意見が寄せられており、改めて検討していく。

問 ドローンや人工知能(AI)などの新技術を活用した橋梁点検の実証実験の状況はどうか。

答 令和2年度のAIを用いた橋梁のひび割れの解析では、過去に点検員がチョークでしるした箇所をひび割れと認識できないケースがあつたため、実用化に向けてAIの精度を高める研究を進めていく。また、ドローン搭載カメラでの点検の実用性については、撮影した画像は精細であり実用性が確認できたが、橋の裏側の狭い箇所は撮影が難しいため障害物を自動で回避する機能等の技術を取り入れる等研究を進めていく。

問 県立病院における新型コロナウイルス感染症への対応

答 長期に及ぶコロナ禍での県立病院の対応状況と今後の取組みはどうか。

答 新型コロナウイルスの感染が拡大する中、県立病院はいち早く専門外来や専門病床を設置し、これまで県内のコロナ入院患者全体の約4割を受け入れてきた。今後は、河北病院に開設した「山形県PCR自主検査センター」の円滑な運営や、ワクチン接種の加速に向けた県による大規模接種への積極的な協力など、感染の収束に向け、県立病院が持つ総合力を十分に発揮していく。

橋梁点検の新技術の実証実験の状況

一般質問から



自由民主党
五十嵐智洋 議員
(長井市・西置賜郡選挙区)

山形鉄道株式会社に対する経営改善支援

山形鉄道株式会社は、経営改善に向けた支援を県が主体となって行うべきと考えられているか。

県では、沿線自治体とともに鉄道施設や車両の維持管理部分に対し経営維持のための財政支援をしている。これに加え、令和2年度は運行経費を対象に新たな支援を行い、運行が維持されるよう措置した。引き続きフラワー長井線の経営、財務、利用拡大について沿線自治体とともに総合的に支援していく。

置賜地域の新産業団地の整備

長井市で整備を検討中の新産業団地の実現に向けて支援すべきと考えられているか。

県は、新潟山形南部連絡道路と国道113号が交差する同市今泉地区を農村産業法に基づく産業導入地区に位置づけるため、同市にアドバイスを行うなど、新たな産業団地の実現に向けてサポートしていく。また、地域産業の活性化や安定的な雇用の創出に資する企業の立地につながるよう、同市と連携して、企業誘致に取り組んでいく。



県政クラブ
今野美奈子 議員
(鶴岡市選挙区)

児童相談所の体制強化

多様化する社会変化を見据え、関係機関との連携充実による児童相談所の体制強化が必要と考えられているか。

市町村等と連携して層の厚い支援を行うため、令和2年度から児童相談所に関係機関連携のキーパーソンとなる市町村支援を目的とした専任の児童福祉司を配置している。また、児童心理司等を計画的に採用し専門性を確保するとともに若手と中堅職員をチームとする地域担当制を実施し職員のレベルアップを図っている。

子どもを産み育てやすい社会の実現

子どもを産み育てやすい社会を実現するための方策について。

令和2年3月に策定した「やまがた子育て応援プラン」により、子育て家庭等に対する医療費助成等の経済的支援や、子育て支援センター等による相談や交流など、妊娠から出産・子育て期まで切れ目のない支援を行っている。また、地域や企業を含め社会全体で子どもを育てる機運醸成を図りながら、家庭と仕事の両立支援と男性の育児・家事への参画を促進していく。



自由民主党
小松 伸也 議員
(最上郡選挙区)

移住定住・関係人口創出拡大の推進

移住・関係人口創出拡大推進事業と新たに設置する創業支援センター(仮称)をどう連携させていくのか。

同センターは、山形駅に直結する霞城セントラル内に設置されるため、ワーケーション(※)等で来県した方々と県内の経営者等との交流拠点として活用できる。また、同センターの来訪者に県内のコワーキングスペースや観光地を紹介することで県内各地への誘客も可能となり、山形新幹線の利用回復にも寄与する。



※ワーケーション:仕事(Work)と休暇(Vacation)を組み合わせた造語

東北農林専門職大学の魅力創造の取組み

東北農林専門職大学(仮称)の魅力創出に向けてどのような検討を進めているのか。

「理論に裏付けされた高度な実践力を養成する」という専門職大学の特色を打ち出すため、県内の優れた農業経営体等で高度な生産・経営ノウハウを实地で学ぶ「臨地実務実習」を充実させている。また、優れた教員の確保に努めながら、住民と学生の交流を推進するなど地域にとって魅力ある大学づくりに取り組んでいく。

予算特別委員会の質疑内容



自由民主党
相田 光照 議員
(米沢市選挙区)

コロナ克服・経済再生特命補佐に関するマスコミの報道への所感

前副知事に関する任意の事情聴取の報道を受け、知事の所感はどうか。また、報道を受けて本人に確認したのか。

当該報道が令和3年6月定例会の開会の時期になされたこと大変驚いている。任意の事情聴取については、県警が発表していないことを私から申し上げることはない。また、前副知事には、同年3月頃に、うわさとして漏れ聞こえた内容を確認しており、今回の報道を受けて改めて確認はしていない。

新型コロナウイルス感染症に係る幅広い業種に対する支援

新型コロナウイルスの影響は幅広い業種に及んでいるが、どう支援していくのか。

令和3年3月以降の第3波により多くの事業者が影響を受けていることを踏まえ、地方創生臨時交付金を活用した「事業継続応援給付金」を同年6月補正予算に計上した。対象は、大企業等を除いた幅広い業種を考慮しており、議決後には申請の受付体制を速やかに整備し、事業者の元に支援が早急に届くよう、給付事務を進めていきたい。



日本共産党山形県議団
渡辺ゆり子 議員
(山形市選挙区)

コロナ禍で不安を抱える女性に対する支援

「生理の貧困」をどう認識し、施策を進めていくのか。

経済的な事情で必要な生理用品が十分手に入らない、いわゆる「生理の貧困」は女性の健康や尊厳に関わる重要な課題であり早急な支援が必要である。県では「やまがた女性」のつながり緊急サポート事業一の中で市町村教育委員会、NPO等と連携して、子育て支援拠点施設や学校、図書館等の身近な窓口で生理用品を無償提供するなどの仕組みを構築し、利用方法の周知を図っていく。

少人数学級の推進

本県は全国に先駆けて33人学級を推進してきたが、不登校の現状はどうか。また、少人数学級をさらに進めてはどうか。

令和元年度の千人当たり不登校児童生徒数は、小学校で5.3人(全国平均8.3人)、中学校で31.2人(同39.4人)であり、全国的にも少ない状況にある。県では、令和3年度から現行の「教育山形『さんさん』プラン」に係る成果と課題を取りまとめるとともに、今後の少人数学級編成について検討していく。



自由民主党
遠藤 和典 議員
(山形市選挙区)

水素ステーションの普及拡大

県は、ゼロカーボン2050を宣言しており、その実現に向けて、水素ステーションの普及拡大に取り組むべきではないか。

水素の利活用は脱炭素化の実現に向けて重要な手段と考えているが、水素ステーションは、採算性に課題があり、整備費・運営費の一層のコスト低減や需要拡大による稼働率の向上が必要とされている。こうした状況を踏まえ、

日沿道・東北中央道の建設促進に向けた要望活動を実施

5月13日、「日本海沿岸東北自動車道」と「東北中央自動車道」の整備促進について、それぞれの協議会でオンラインによる要望活動を行いました。

本県をはじめ、協議会を構成する青森、福島及び新潟県の4県議会から議長等が参加し、日沿道・東北中央道の着実な整備について、国土交通省に対し要望しました。



オンラインで要望活動する坂本貴美雄議員



水素供給拠点の県内への立地促進

酒田港を水素エネルギーの供給拠点としてはどうか。

水素エネルギーの商用化・社会実装には、製造・貯蔵・輸送の各段階で技術開発、インフラ整備、コストの課題があり、現状では実証事業段階である。県では、令和3年6月に酒田市等と酒田港基地港湾等カーボンニュートラル連携会議を設立し、雇用創出や経済波及など地域振興の観点からも関係部局が連携してカーボンニュートラルポートの形成に向けた検討を進めていく。





自由民主党
梶原 宗明 議員
(酒田市・飽海郡選挙区)

港湾計画の変更に係る考え方

問 洋上風力発電を推進するために必要な基地港湾の指定を酒田港が受けるため、港湾計画を変更するべきと考えられるか。

答 国土交通大臣から基地港湾の指定を受けるためには、地盤の強化等を盛り込んだ港湾計画の変更が必要である。加えて、その指定には再エネ海域利用法等に基づく2以上の許可事業者が酒田港を利用する見込みも必要となるため、それぞれの手続きが円滑に進むよう、準備を進めていく。



飛鳥振興に向けた取組みと今後の進め方

問 飛鳥振興に向けたこれまでの取組みと今後の事業の進め方について。

答 これまで県、酒田市、とびしま未来協議会等が連携して、オンラインでの移住体験の実施など県内外との新たなコミュニケーションや、島内外の人々との活動拠点となるゲストハウスの開設、光ファイバーの敷設によるデジタル基盤の整備に取り組んできた。引き続き酒田市や同協議会と連携し、課題をチャンスに変え、飛鳥の振興に努めていく。



県政クラブ
青木 彰榮 議員
(長井市・西置賜郡選挙区)

長井白鷹西廻り幹線道路の検討状況

問 長井白鷹間西廻り道路の整備に向けた検討状況と今後の対応について。

答 「山形県道路中期計画2028」では、令和5年度までに長井から白鷹の間の調査に着手するとしていたが、前倒しで同2年度から着手している。長井市と白鷹町を交えて、複数のルート案について概算事業費や整備効果等を検討している。



主要地方道米沢飯豊線菅沼峠における道路整備の早期実現

問 菅沼峠の道路改良整備の早期実現が望まれるがどうか。

答 菅沼峠の飯豊町側には、落石や雪崩の危険箇所が多く、落石等の対策を実施した際に道路を拡幅している。一方、川西町側の危険箇所は極めて限定的であるが、幅員が狭くすれ違いが困難な箇所が残っており、少しずつ安全性確保の整備を行っている。引き続き地域の方々や安心して日常生活を送れるよう、両町に相談しながら整備を進めていく。



自由民主党
矢吹 栄修 議員
(天童市選挙区)

県内飲食業や観光業への支援

問 県の新型コロナ対策認証制度をより多く利用してもらうためどう取り組んでいくか。

答 これまで県のSNSや広報誌等で同制度について積極的に発信してきた。令和3年7月には専用のウェブサイトを立ち上げ、認証店の位置を地図上にわかりやすく表示するなど、認証店の利用拡大を進めていく。併せて認証店自体の拡充にも取り組み、新型コロナ前に近い日常を早期に取り戻し、県内観光の復活と経済再生につなげていく。

今後の交通革命を見据えたMaas実現への取組み

問 県はMaas(※)実現への取組みをどう進めていくのか。

答 令和3年3月末、バスの時刻表等の公共交通情報をオープンデータ化しており、今後その活用によるアプリ開発等利便性の向上につなげていく。また、交通系ICカードの県内全域一斉導入により、複数の交通手段を一連の検索・予約、決済で支払うするMaasレベル2を目指す。将来的には自動運転等を取り込みつつ、交通弱者も念頭においたMaasを実現していく。

※Maas(Mobility as a Service)：地域住民や旅行者個々の移動ニーズに応じて、複数の公共交通や移動サービスを最適に組み合わせる検索・予約・決済等を一括で行うサービス



県政クラブ
青柳 安展 議員
(東根市選挙区)

副知事の人事案件

問 副知事の人事案については、令和3年9月定例会までに示すべきと考えられるか。

答 県政は、新型コロナ対策と経済再生の両立をはじめ、様々な課題が山積している。県民を第一に考え、県政の停滞を招くことがないように、県議会の同意を得て早期に副知事を選任したいと考えている。自民党県連の役員が新体制になったことも踏まえ、改めて意見交換などを行い、副知事不在という事態を解消していきたい。

新型コロナウイルスの影響を踏まえた新たな交通需要の創出

問 新型コロナウイルスの影響を踏まえ、新たな交通需要の創出にどう取り組んでいくか。

答 首都圏等における地方への関心を踏まえ、令和3年10月1日、JR東日本と連携し「どれいゆつばさ」をワーケーション専用車両として臨時運行し、利用者層の新規開拓を進めていく。また、同年6月末のFDA(フジドリームエアラインズ)による山形空港発着の富士山遊覧飛行では旅行介助士が同乗するなど、超高齢社会の中で新たな需要を喚起する取組みを行っている。



自由民主党
椋津 博士 議員
(寒河江市・西村山郡選挙区)

ヤングケアラーに対する支援

問 県ではヤングケアラー(※)に対してどう支援していくのか。

答 県では、ヤングケアラーの早期発見や市町村要保護児童対策地域協議会との連携等について関係部局間で確認した。今後も市町村と連携して同協議会における関係者のヤングケアラーに対する認知度を高め、情報収集と適切な支援へのつなぎ等を徹底していく。また、児童に重大な権利

侵害が生じた場合は市町村等と連携し、児童相談所による一時保護等を行っていく。
ヤングケアラーの把握のための教職員の協力

問 ヤングケアラーの把握には教職員の協力が欠かせないと考えられるか。

答 ヤングケアラーの早期発見と状況の把握には、普段から子どもと接する機会の多い学校の教職員からの協力は重要である。このため、学校と要保護児童対策地域協議会など福祉関係機関との連携を促進するとともに、教職員を対象とした、ヤングケアラーについての知識や理解を深める研修等を通じて、早期発見や状況の把握に努めていきたい。
※ヤングケアラー：本来大人が担うと想定されている家事、家族の介護、年下のきょうだいの世話などを日常的に行っている子ども

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会を開催

5月28日、6月23日に新型コロナウイルス感染症対策特別委員会を開催し、新型コロナの影響や対策等について関係者のご意見をお聞きしました。

	県看護協会 会長 井上 栄子氏
	鶴岡市社会福祉協議会 会長 山木 知也氏
	山形ウエイティング協議会 会長 武田 靖子氏
	県美容業生活衛生同業組合 理事長 桑原 通夫氏

降霜・降ひょうによる農作物等被害について 農林水産常任委員会で緊急調査を実施

6月7日、農林水産常任委員会では、今春発生した降霜・降ひょうによる農作物等被害について、鶴岡市、天童市、上山市の3か所の園地を調査しました。その後、同委員会での議論を踏まえ、支援の充実・強化を求める意見書を国に提出しました。

可決した意見書

● 降霜・降雹による農作物等被害に対する支援の充実・強化を求める意見書

● 新型コロナウイルス感染症防止対策等を徹底し東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功を求める意見書

可決した決議

● 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に出場する本県選手を激励する決議

活動団体等との意見交換を実施

県民の皆さんの多様な意見を県政に反映する広聴機能を強化するため、常任委員会の現地調査において意見交換を行いました。

文教公安常任委員会

- 開催日 7月7日(水)
- 実施団体 酒田光陵高等学校
- 意見交換の内容 同校の生徒が運営する一般社団法人SKIES (スカイズ) の活動や各専門学科での取組みについて



総務常任委員会

- 開催日 7月29日(木)
- 実施団体 一般社団法人山形県ハイヤー協会
- 意見交換の内容 コロナ禍におけるハイヤー利用の現状やこれまでの行政支援の成果等について



商工労働観光常任委員会

- 開催日 7月19日(月)
- 実施団体 赤湯温泉旅館協同組合、南陽市観光協会、赤湯温泉料理飲食店組合、山形県喫茶飲食生活衛生同業組合南陽支部

- 意見交換の内容 新型コロナウイルス感染症による観光・飲食業への影響や今後の観光客数・利用者数の回復に向けた課題等について



厚生環境常任委員会

- 開催日 7月15日(木)
- 実施団体 訪問看護総合支援センター、訪問看護ステーションやまがた
- 意見交換の内容 新型コロナウイルス感染症拡大により、利用者が増加傾向となっている訪問看護の現状や課題について



コロナ禍で奮闘する看護職の皆さんへ 応援メッセージを手交

6月30日、渋間佳寿美広報・広聴委員長、高橋淳副委員長が県看護協会を訪問し、同協会が募集する「コロナ禍で奮闘する看護職への応援メッセージ」の取組みに賛同した県議会議員のメッセージを手渡しました。

メッセージの写しを議会棟に展示していますのでぜひご覧ください。



生徒・学生と県議会議員との意見交換会を開催

県議会では、生徒・学生の皆さんに県議会を身近に感じてもらい、主権者としての政治参加意識の醸成を図ることを目的に、県議会議員との意見交換会を開催しています。

7月21日に庄内農業高等学校の生徒会役員の方々と「私たちが望む暮らし」について意見交換を行いました。



県議会ギャラリーのご案内

県議会では、県内の児童、生徒、学生の皆さんが学校の授業や部活動などで制作した作品を展示するスペース「県議会ギャラリー」を提供しています。

県議会に作品を展示してみませんか。

- 【展示対象】 工作、絵画、イラスト、ポスター、彫刻、書、写真、研究発表用ポスター など (展示用パネル・机は準備します。)

- 【展示場所】 県議会棟1階ロビー
- 【展示期間】 1か月以内
- 【展示費用】 無料
- 【問合せ先】 023-630-2846

県議会ギャラリーで「YAMAGATA ドリームキッズ」の活動を紹介

6月定例会期間中、県議会ギャラリーでは、オリンピックや国際大会などトップレベルでの活躍を目指す子どもたちの夢を応援する「YAMAGATA ドリームキッズ」の取組みを写真パネルやドリームキッズ通信等により紹介しました。聖火リレーのトーチも展示されました。



県議会は、年に4回(2月・6月・9月・12月)定例会を開催します。「県議会やまがた」は、各定例会の概要等をお知らせします。

編集・発行 山形県議会 〒990-8570 山形市松波2-8-1 Tel 023-630-2846
<https://www.pref.yamagata.jp/kensei/assembly/index.html>

山形県議会

検索



県議会インターネット中継・傍聴のご案内

県議会の本会議や委員会は公開されており、どなたでも傍聴することができます。

また、本会議と予算(決算)特別委員会は、インターネット中継を行っておりスマートフォンからもご覧いただけます。なお、現在、傍聴席については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、間隔を保った座席利用とし、本会議場で利用可能な座席数は53席、予算(決算)特別委員会では16席となっています。

問合せ先 023-630-2840

